

宗太郎、吉田貞雄、惠利恵、醫科大學生井上諸氏來場。

二十九日晴、風あり、プランクトンには夜光蟲と橈脚類と多し、郡場寛、田畑助四郎兩氏來場。

三十日晴、微風あり、後雨となる、プランクトンには夜

光蟲と橈脚類と多し、波止場側にはプテロトラキア、ベロエ、セスタス等多し、前日の荒模様の結果ならん。

三十一日曇、北風寒し、プランクトン採集あり、午後バフンと稱する海膽の人工受精をなす。

四月一日晴、北風寒し、上曳採集例の如し、永井元吉、石田收藏兩氏來場。

二日晴、北風、上曳採集例の如し、遠藤吉三郎、小野孝太郎兩氏來場。

三日晴、靜穩、午後風烈し、皇太子殿下御用船初加勢入港、五十四號水雷艇も亦入港す、高橋嘉四郎、田中茂穂兩氏來場。

四日曇、後雨、惠利、栗野、田畑、川村、郡場諸氏去る
藤田輔世、三宅恒方兩氏來場、吉田、藤田、田中諸氏去る。

五日雨、

六日晴、午後風あり。

七日晴、永井元吉、神田正悌、兩氏去る、次で高橋、石田、三宅諸氏去る。

●三崎臨海實驗所に於ける夏期臨海實習會
動物學臨海實習會は例年の如く八月一日より三週間相州三浦郡三崎の實驗所に於て開き飯島教授及び飯塚助教指導の任に當られたりと云ふ而して今回の入會志願者中許可せられたるは左記の十四名なりと。

戸井田盛藏 (巖手縣立水産學校)

林 正 (兵庫縣立柏原中學校)

加藤賢三 (瀧井縣立福井中學校)

阿部泰作 (熊本縣立八代中學校)

三宅代五郎 (香川縣立丸龜中學校)

細川正之助 (福島縣立福島中學校)

西山森太 (岡山縣立農學校)

吉永虎馬 (高知縣立第三中學校)

渡邊留吉 (栃木縣立太田原中學校)

高柳悦三郎 (埼玉縣立女子師範學校)

中島龜太郎 (栃木縣立佐野中學校)

正富彌藏 (和歌山縣立和歌山中學校)

折井最一 (長野縣立大町中學校)

菅田茂郷 (兵庫縣立姫路師範學校)

又實驗材料としては、

原生動物 夜光蟲、有孔蟲、放射蟲、等

海綿動物 玻璃、海綿其他

腔腸動物 タコクラゲ、ミズクラゲ、イソギン

チャク、アンドンクラゲ、海蛇類等

棘皮動物 ムラサキウニ、ヒトデ

環蟲類 イソゴカイ、ケヤリムシ

節肢動物 イセエビ、カニ、エボシガヒ、及び

幼蟲等

被囊動物 カラスボヤ、アブペンデクラリヤ、ド

リヲラム

軟體動物 スルメ、イカ

有脊椎動物 ホシザメ、イサキ

等の諸動物を用ひ時々海岸採集を試み海底のドレッヂを試用し又表面採集は屢々之を試み斯くして獲たる動物に就き説明ありたる由。

發生學實驗としてはムラサキウニの人工受精を行ひ其發育状態を見又プレパラート製造法一斑をも講ぜりとのことなり。

● Dr. Hilgendorf 氏逝く

有名なる獨逸の魚類學者にして、從來屢々日本の魚類その他の水産族を研究せられたる同博士は、本年七月五日を以て永眠せられたりと、吾人は斯界の爲めに痛惜せざるを得ず。

● 新著紹介

○大瀧圭之助、藤田經信、日本魚類圖說第一卷第一集定價二圓
日暮忠、三氏合著

本書は昨年八月裳華房より發行せる者にして本集にはスズキ、アマダイ、マガツヲ、ブリ、四種の種別、眞形、及漁獵法、漁獲高等を擧ぐ尙此書は續刊せらるべき一部にして近來稀に見る立派の書なり、著者は通俗を旨とせられたれば、漁家、好事家諸氏には重寶なる者なり。